

製品名: ERK1/2 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe21337

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:43kD,41kD;Observed MW:43kD,41kD

抗原情報

遺伝子名	MAPK1/MAPK3 MAPK3;ERK1;PRKM3;Mitogen-activated protein kinase 3;MAP kinase 3;MAPK
別名	3;ERT2;Extracellular signal-regulated kinase 1;ERK-1;Insulin-stimulated MAP2 kinase;MAP kinase isoform p44;p44-MAPK;Microtubule-associated protein 2 kinase;p
遺伝子 ID	5595;5594
SwissProt ID	P28482,P27361
免疫原	-

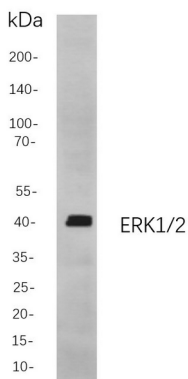
背景

細胞局在: 細胞質、核。この遺伝子によってコードされるタンパク質は MAP キナーゼファミリーのメンバーである。MAP キナーゼは細胞外シグナル制御キナーゼ (ERK) としても知られ、様々な細胞外シグナルに応答して、増殖、分化、細胞周期の進行など、様々な細胞プロセスを制御するシグナル伝達カスケードにおいて機能する。このキナーゼは上流のキナーゼによって活性化され、核に移行して核内の標的タンパク質をリン酸化する。異なるタンパク質アイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



3T3-L1 細胞ライセートのウェスタンブロット解析 (ERK1/2 ウサギ mAb を使用)。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。